

特集

# やんちゃな 団塊世代

戦後のベビーブームの中生子である「団塊の世代」。バブル全盛期には「企業戦士」として会社に尽くし、家族を養い、子どもに教育を受けさせ、守ってきた「家庭」。定年したからといって「家ですることがない」「地域に居場所がない」なんてかなし過ぎる。一世代前のシニアたちのように「粗大ごみ」や「濡れ落ち葉」なんて言わせない。だって、ぼくらはぼくら流に生きていく。今までも、そしてこれからも…。団塊世代バンザイ！

今までのシニアとはちょっと違う

## 気が若い

団塊世代の認知年齢（自分をいくつだと思うか）は、実年齢よりも10歳も若いという。高年齢者やシニア向け商品やサービスは続けて通り、「年寄りくさい」「ことを妙に解る性質がある」。

## 夫婦で楽しむ

メールで連絡を取り合ったり、外出して一緒に食事をしたり。屋外に仲が良い団塊世代夫婦。セカンドライフも「夫婦で商売を」する人で旅行を「と共通の夢を描く人も多い」。

## マニアック

「レコード」「プラモデル」「楽器」「時計」など、お金のかかるコレクションを持続させている。ひとつのものにこだわって追求している。人が何と「おうと」、いいものはいい。集めて悦にひたっている人も多い。

## 仲良し母娘

母と娘の仲の良さといったら足りない。ショッピングに旅行に、映画に、どこへ行くにも「母（娘）を誘って」という人が多い。母娘間のコミュニケーション濃度が最も濃いのがこの世代。

## 個性をアピール

右へ彼への時代を過ぎて、個性をウリしてきた団塊世代。ビートルズやロックを聴き、ジーンズやアイビールックで編みこっていた彼ら、音楽もおしゃれも、新しかった。

## 旺盛な知的好奇心

高校進学率が7割を超えた団塊世代。自分自身への知的好奇心レベルが高いのが特徴だ。精神的に豊かになるため、好奇心を満たし、新しい経験のための出費はいとわぬ。

## マナーにうるさい

団塊世代の親たちは、明治・大正の生まれ。自由をうたっていた彼らも、目上の人への礼儀や社会でのマナーは徹底している。人間つきあいで挨拶は基本、とけい、まうるわい。

## 子どもは子ども

大学進学に明け暮れ、自ら時代をつくってきた団塊世代が、それまでの日本にはなかった新しい生き方を実践し、独自のライフスタイルを貫いてきた。だから、次代の子どもたちへも強制はしない。「いいとこは教わって、独自の文化をつくれ」と願っている。

